

NAGASAKI

看護連盟だより



平成26年度 長崎県看護連盟通常総会開催

平成26年度長崎県看護連盟スローガン

- * ベッドサイドから政治を変える！
 - * 長崎県の活性化に向けて看護の力を発揮しよう！
- 健康で輝く看護の心— —看護教育の質の向上—

目

次

長崎県看護連盟会長あいさつ…………… 2	谷川弥一衆議院議員国政報告…………… 7
長崎県看護連盟名誉会長あいさつ……… 3	平成26年度看護連盟研修会…………… 8
平成26年度長崎県看護連盟通常総会… 4・5	施設紹介（みてみて my 病院）…………… 9
平成26年度地区支部総会・報告会……… 6	お知らせ・編集後記…………… 10



ごあいさつ

長崎県看護連盟 会長 金 澤 きみ代

今年の夏は天候不順で、晴れた日が何日あったのでしょうか？しかも雨による災害が日本全国でおきました。中でも広島島の土砂災害は多くの「命」が失われました。本当に心が痛みます。衷心よりお悔み申し上げます。

さて、昨年石田昌宏参議院議員が誕生し組織代表の国会議員が3人そろいました。いまこそ、国民が安心して暮らせる社会保障を実現する専門職として、現場の声を政策にあげ、国会の場で制度化、法制化する力を発揮できるときではないでしょうか。

6月18日「医療介護総合確保推進法」が参議院を通過し、6月25日保健師助産師看護師法が改正されました。3人の国会議員と県選出の国会議員のおかげです。この時ほど看護連盟と看護協会の政治力・組織力を感じた事はありません。

「医療介護総合確保推進法」の中には「特定行為に係る看護師の研修制度」が含まれています。今後、特定行為に係る看護師の研修制度の具体的な運用等は行政で決められていきますが、看護界の意見がどれだけ反映されるかが問題で、看護協会と連携を取りながら対応していかなければなりません。

一方、地方主権の流れの中で、各都道府県における看護政策に対して強い政治力が求められています。そのために県議会議員および県看護協会と連携を密に図りながら県政に働きかける必要があります。

このように、今後は国においても県においても看護連盟の役割がますます重要になってきました。

26年度、長崎県看護連盟はスローガンを

「ベッドサイドから政治を変える！」～確かな政策力、強力な集票力を持つ組織をつくる～「長崎県の活性化に向けて看護の力を発揮しよう！」～健康で輝く看護の心～、～看護教育の質の向上～とし、重点目標を①確かな政策実現力を持つ、②強力な集票力を持つ、③多くの人材提供力を持つ、としました。具体的な内容の一つとして、会員数増とリーダー数増があります。会員数目標6000人、リーダー数目標750人です。とにかく数は力です。皆様のご協力を得ながら何としても達成したいという思いで、いま活動中です。

超高齢多死社会に突入しているいま、看護職の役割はますます拡大されていきます。私たち看護職は、常に、県民目線に立ち、社会・時代のニーズにあった看護を提供していくことを目指しています。今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



燕岳山頂付近のコマクサ



ごあいさつ

長崎県看護協会 長崎県看護連盟 名誉会長 山口 ミユキ

異常気象とは申せ、いまなお、大雨による各県の大惨事に胸痛を覚える中、はや、秋の訪れに、「萩の花」が優しく揺れております。皆さまはそれぞれの立場で時局にふさわしい看護活動の日々かと拝察いたします。

さて、平成26年度事業計画、過日の通常総会で、各自が看護連盟の組織人として責任を持って承認、可決したその中味、左、右に掲げたスローガン「ベッドサイドから政治を変える」長崎県を元気にする、この大事業を果すための努力こそ実践活動であります。

◎「ベッドサイドから政治を変える」看護協会事業目的達成の為に、協会ニュースを読みましょう。

把握した中味を適切な判断のもとで達成させることこそ連盟の実践活動であり、今年度は、何を為すべきか。

- 協会ニュース「号外」(2014. 6. 18)

医療介護総合確保推進法が成立、この中で看護関連の主要項目

・特定行為に係わる研修制度の主な内容

- ・特定行為に係わる看護師の研修制度
- ・ナースセンターへの届け制度
- ・臨床機能報告制度
- ・新たる財政支援制度(基金)

いま一度、号外に目を当てていただき、有意義な連盟活動を展開しましょう。

◎「長崎県の活性化に向けて看護の力を発揮しよう」

— 地域と共に歩む看護 —

ながさき看護センター創設(平成12年11月)爾来、看護は地域社会と共に、を鮮明に脳裏に刻み専念したいま、その域に達し地域社会より高く評価されている事実を知るとき、看護の専門職者として自覚を新たに、平成26年度は何を為すべきか、出来ることは、長崎県民一体となって成功させる大事業。

・がんばらば国体・がんばらば大会への協力。

長崎県知事を名誉顧問として、大会奉迎実行委員会が設置されました。その中に名誉会長の山口ミユキが副会長、会長の金澤きみ代が実行委員に選出され、目下、天皇皇后ご両陛下をご宿泊所付近にて提灯奉迎、ご視察先沿道で国旗等による奉迎を考慮して鋭意検討中で、国体は45年目、大会は長崎県では初めての大会であり、官民一体となった、この大事業に、「看護の心」の一端をお届けしたいことから協賛金をお願いしましたところ、ご出費ご多端の折にもかかわらず、ご協力いただきましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございます。長崎県活性の為に、この度の長崎がんばらば国体、長崎がんばらば大会、奉迎実行委員会のメンバーとして参加し、「看護の心」を届けることができますことを会員同志の皆さまと共に喜び、平成26年度の長崎県看護連盟スローガンの提案主旨にそった活動を評価する次第であります。気象異変の折、ご健康にご留意のうえ益々のご健康とご活躍を心からご祈念してごあいさつと致します。

平成26年9月11日

2014、長崎国体(第69回 国民体育大会)

会期前競技 水球県勢8位(読売新聞)

— やさしくゆれる萩の花咲く日に —

平成26年度

長崎県看護連盟通常総会

日時：平成26年7月5日(土) 14:00～16:30

場所：ながさき看護センター 参加人数：会員492名 役員35名

12:00

開場

12:50

オリエンテーション

13:00

特別講演 講師 長崎県副知事 瀧本磨毅穂
 超高齢・少子社会を支える看護 ー行政の立場からー
 講演内容
 ・ 社会保障制度改革について
 ・ 看護師確保のための新たな取り組み
 ・ 県としての対策の概要



14:00

総会開会

物故会員への黙祷

挨拶

表彰

来賓祝辞

中村法道県知事(代) 瀧本磨毅穂副知事
 市長代表 宮本明雄諫早市長
 谷川弥一衆議院議員 北村誠吾衆議院議員
 富岡勉衆議院議員 加藤寛治衆議院議員
 末吉光徳衆議院議員 古賀友一郎参議院議員
 公益社団法人長崎県看護協会会長 副島都志子
 祝電披露



15:15

議長団選出

報告事項

1. 平成25年度 長崎県看護連盟通常総会報告
2. 平成25年度 都道府県会長会報告
3. 平成25年度 役員会報告
4. 平成25年度 委員会報告
5. 平成26年度 日本看護連盟通常総会代議員報告
6. 平成25年度 長崎県看護連盟活動報告
 平成25年度 支部活動報告
 県南地区第1支部～第9支部
 県央地区第1支部～第6支部
 県北地区第1支部～第3支部
 離島地区下五島支部
 離島地区上五島支部
7. 平成25年度 収支決算報告書
8. 平成25年度 監査報告



15:50

審議事項

1. 平成26年度 長崎県看護連盟スローガン(案)
2. 規約改正
3. 平成26年度 長崎県看護連盟活動計画(案)
4. 平成26年度 収支予算書(案)
5. 平成27年度 日本看護連盟通常総会
代議員選出について
6. 役員選出
7. 平成27年度 長崎県看護連盟通常総会
開催地について

三階会場 ↓



質疑

- ・ポリナビを名称変更して青年部とすることに対しポリナビと青年部の違いについての質問があった。
- ・看護連盟55周年記念事業は中止し、60周年記念事業を実施する。→賛成多数で承認された。

新役員・退任役員挨拶

綱領宣言

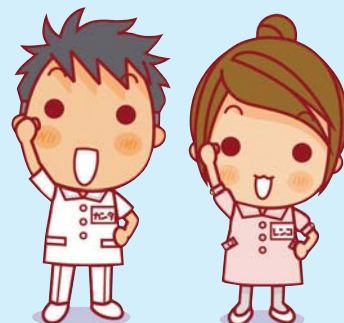
日本看護連盟歌斉唱

16:30

閉会

平成26年度 長崎県看護連盟スローガン

1. ベッドサイドから政治を変える！
～確かな政策力、強力な集票力を持つ組織をつくる～
1. 長崎県の活性化に向けて看護の力を発揮しよう！
—健康で輝く看護の心—
—看護教育の質の向上—



今年度からポリナビは青年部として活動開始。

四階会場 (連盟歌斉唱)

日本看護連盟創立55周年記念
会員表彰受賞の皆様

平成26年度地区支部総会・報告会

県南地区

日 時 平成26年 8 月 7 日(木) 18:30~20:00 参加人数 171名

場 所 長崎県看護協会（長崎会館）5 階研修室

感想

来賓に、田上長崎市長はじめ、地元の県議会議員、市議会議員の先生方、長崎県看護協会県南支部長もご出席になり、それぞれのお立場から私共、看護連盟会員へ情熱あるお言葉を頂戴いたしました。

特別講演では、「第4期 政治アカデミー受講報告」と題して青年部、小川正臣氏より看護の未来について熱弁されました。

「ベッドサイドから政治を変える」には私達は今、何をすべきか。何をしなければならないか。共に考えるとても有意義な時間でした。さあ皆さん、今こそ一丸となってがんばろうではありませんか。

県南地区第7支部支部長 植松 末広

県央地区報告会並びに合同研修会

日 時 平成26年 7 月 11 日(金) 18:30~20:00 参加人数 136名 *役員を含む

場 所 ながさき看護センター 3 階研修室 A 来賓者 3名

感想

県央地区第5支部支部長の開会挨拶、長崎県看護連盟会長金澤さきみ代様、長崎県看護協会県央支部諫早地区長余里康子様の挨拶後に来賓の長崎県県議会議員八江利春様、中村和弥様からご祝辞を頂きました。

報告会終了後、引き続き「ただひと筋、走り続けた私の道・看護」と題して、長崎県看護協会・看護連盟名誉会長山口ミユキ様に講演をして頂きました。

名誉会長のこれまで歩んでこられた看護の歴史を踏まえて、最近では地域に出かけられ多くの方々に講演をされている体験をお聞きし、笑いあり涙あり、時の経つのも忘れて話されるエネルギーは、どこからくるのだろうかと感動しました。終了時間が超過しましたが、参加者の皆さんの表情は、満足感に溢れていました。

県北地区

日 時 平成26年 8 月 28 日(木) 18:30 参加人数 60名

場 所 ホテルサンルート 来賓者 3名

感想

「リーダーとしての役割を理解し今後の活動の活性化を図る」という内容で看護連盟の役割や看護職の代表を国政に送るためには選挙に勝つ必要がありそのためにはリーダーとしてどういう役割があるかなどわかりやすく抗議していただきました。研修会の後は会場を変えて懇親会を開き面白おかしい余興で日頃のストレスを解消し、お腹を満たし、喉を潤し絆を深めました。参加した研修生からは「看護連盟の担う役割の大切さなど理解できた。」「懇親会も楽しくて良かったし、今日の研修会に参加してよかった。」などの意見が聞かれ好評のうちに終了しました。これからもこのような研修会を開催し各施設との連繋を深めていきたいと思いました。



県北地区第3支部支部長 横山紀美子

離島地区下五島支部報告会及び研修会

日 時 平成26年 7 月 26 日(土) 10:00~11:30 参加人数 38名

場 所 長崎県五島中央病院 研修室 来賓 なし（招待せず）

県連盟より 山口名誉会長、金澤会長、久米副会長

感想

参加人員30名を目標に、長崎県五島中央病院を始め会員施設に何回も足を運び、又文書で参加を呼びかけた結果38名の参加が得られた。

研修会は「ただひと筋、走り続けた私の道・看護」というテーマで山口名誉会長に講演をいただいた。

具体的な事例を示しながら、看護協会がかかげる政策を実現する為には、看護連盟活動が不可欠なこと、協会、連盟は、車の両輪のごとく力を合せて活動する必要があることを力説された。参加者一同熱心に聴講していた。

これを機会に、一人でも多く連盟会員が増えることを願っている。 下五島支部支部長 坂下 照代

第2回 国政報告

衆議院議員 谷川 弥一



秋の気配が次第に濃くなり虫の音美しい季節になりました。長崎県看護連盟の皆様におかれましては、平素より多大なるご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

一昨年12月、4回目の当選を果たし文部科学副大臣を拝命しました。在任時は、学校教育問題やいじめ対策、そしてキリスト教群の世界遺産登録などに取り組みました。副大臣を退任した後は、自民党離島振興特別委員長に再任し離島出身の議員として国境離島の保全と振興に全力を傾注しているところです。あわせて、慢性的な渋滞が発生している34号線：大村市～諫早市間の拡幅整備や佐世保市と川棚町、東彼杵町を結び大村市に通じる東彼杵道路の整備促進などにも取り組んできました。

その他、色々書きたいところですが、今回は国境離島の保全と振興についてご報告したいと思います。近年、我が国周辺海域において近隣諸国の海洋安全保障や海洋権益をめぐる主張、活動が活発化しています。五島、壱岐、対馬など長崎県内の国境離島はこれまで以上に重要な役割を担うことになります。しかし、国境離島地域は地理的不利な条件のため急激に人口が減少し、地域社会の維持が困難な離島や無人化の恐れのある離島が増加しているのが現状です。

この現状に強い危機感を持ち、人口の定住化とそのための産業振興・雇用創出が急務ではないかと考え、先日「国境離島の保全と振興のための新法」の成立を目指すため菅官房長官に要望してきました。国境離島地域の定義をどのように定めるのか、新たな財源をどこからもってくるのか、具体的な施策をどうするかなど、まだまだ課題は山積ですが、一つ一つ乗り越え、可能な限り早期に取りまとめを行い、新たな振興法の成立に向け引き続き全力を傾注する決意です。

そして、来春には統一地方選挙があります。自民党長崎県支部連合会会長として「絶対に負けられない」「勝たなければならない」選挙です。長崎県看護連盟の皆様の温かく心強いお力添えを心よりお願い申し上げます、皆様とともに歩んで参りたいと思います。

平成26年度看護連盟研修会

日 時：8月9日(土) 15:00～15:50

場 所：長崎県看護協会（長崎会館）5階研修室

参加人数：85名

15:00 開会

挨拶 長崎県看護連盟会長 金澤 きみ代

15:00

講演 内容：『集団的自衛権』について

谷川弥一衆議院議員

15:35

質疑応答

15:45

謝辞 長崎県看護連盟名誉会長 山口 ミユキ

15:50

閉会



特別講演

みなさんは集団的自衛権についてどの程度ご存じですか？

今回私たちは谷川弥一衆議院議員の講演を聴き、現在の日本の外交問題や憲法の内容など集団的自衛権について考える機会を得ました。

平成26年度第1回看護管理者等研修会

日 時：平成26年8月22日(金) 18:30～20:00

場 所：長崎県看護協会（長崎会館）5階研修室

参加人数：155名 役 員：12名

講 演

「特定行為に係る看護師の研修制度」

－養成教育から法制化までの道のりと今後の課題－

講 師

日本看護連盟会長 草 間 朋 子

「特定行為に係る看護師の研修制度」に関する保助看法の改正が私達の代表3名の国会議員の先生をはじめ、県選出の国会議員の先生方の尽力により去る平成26年6月25日に交付されました。今回これまで特定行為の養成教育に深く関わられてこられた草間会長から直接その困難な法制化への道のりを聴くことができました。

今後この研修制度を運用していくに際してのさまざまな課題についても詳しく話していただき、理解を深めることができました。





みてみてmy病院

第9回

佐世保市立総合病院

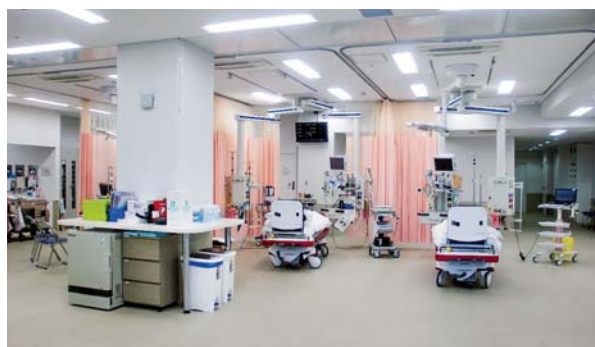
救命救急センター

Emergency Room

重症および複数領域にわたる重篤な救急患者を24時間体制で受け入れることを基本方針とし、今年4月、救命救急センターが本格始動しました。

6階建てのセンターは、1階が初療室、3階がICU、4階がNICU・GCU、5階はHCUと救命救急病棟となっています。2階には研修医医局、認定看護師研究室を新たに設置し、更に6階には大研修室とシミュレーションを設置しました。

初療室には放射線撮影室が併設され、救急搬送された患者様に迅速かつ安全に検査を行うことができます。また、初療室とICUの室内には、シーリングペンダント（医療用電源、医療ガス等の必要設備を供給できる天井懸垂式アームシステム）が設置されており、安全かつ衛生的に治療を行うことが可能となりました。



ICUでは、集中治療が必要な患者様に対して高度な治療と処置を行うだけでなく、集中ケア認定看護師を中心として家族看護にも力を入れています。また、HCUと救命救急病棟は、ICUと一般病棟の間に位置するため、高度治療室としての役割を果たせるようにスキルアップに励んでいます。

NICUとGCUは、新生児集中ケア認定看護師を中心に、新生児の集中治療から退院に向けての家族指導まで一連の過程に関わり、特に、退院については、院内だけでなく行

政や訪問看護ステーションなどと連携を図り、児を安全に自宅に帰すことを目標としています。

センターに搬送される患者様やご家族は、突然の発症や事故などにより危機的状況にあります。その患者様やご家族に対して、確かな知識、技術と、心に寄り添う看護を提供できるように、今年度は、救急看護認定看護師、小児救急認定看護師やBLS推進委員会メンバーが中心となって、システム作りと人材育成に取り組んでいます。今後、医師、看護師をはじめ、MSW、臨床工学技士、放射線技師など多職種の連携を密にしながら、地域の救命センターとしての役割を果たせるように、頑張っていきます。

文責 松井 望



たくさんの応募
お待ちしております。

my病院・施設を紹介してみませんか？

「これが自慢！うちならでは！頑張ってます!!」なんでもOKですよ。

応募方法はこちら → hyk.renmei-nagasaki@shore.ocn.ne.jp または Fax (0957) 49-8066



ご就任おめでとうございます



今回の第二次安倍改造内閣人事において
あべ俊子衆議院議員が農林水産副大臣に
たかがい恵美子参議院議員が厚生労働大臣政務官に
ご就任されました。これからのご活躍を期待します。



研 修 案 内

青年部（育成）研修

と き：平成26年10月5日(日) 13:30～15:30

ところ：長崎県看護協会（長崎会館）

対 象：青年部メンバー 20名

テーマ：「青年部員として活動ができるために」
ーキャラバン活動の継続、青年部リーダーとして自覚するー

リーダー研修

と き：平成26年11月27日(木) 13:30～15:30

ところ：長崎県看護協会（長崎会館）

対 象：県下のリーダー 約150名

テーマ：「各施設におけるリーダーの役割を自覚する」

お知らせ



編集後記

平成26年度の長崎県看護連盟通常総会も無事終了し、新たな活動が始まりました。特に新設の青年部には期待したいところです。

10月には本県での「がんばらんば国体」、11月には「がんばらんば大会」が開催されます。看護協会、看護連盟も国体の成功に協力していきましょう。

